

観桜会での自衛隊武装パレード強行に抗議声明

4月19日。公園内には大勢の花見客がい
て、陸上競技場では選手たちが練習してい
る、そんな中で自衛隊の武装パレードが強
行されました。

パレードは午前11時開始。音楽隊に続け
て迷彩服を着て、小銃を携行した隊員が行
進、その後に、装甲車、災害派遣トラック

などが続きました。小銃を持った隊員のな
かにはまだ20代の青年が何人もいました。
小銃を持って行進するのは勿論のこと、装
甲車の威圧感がいやでしたね。

パレードが終わってから上越市平和委員
会など14団体が連名で抗議声明を発表しま
した。16日に武装パレードをやめるよう市

長に申し入れた団体です。

声明では、「(武装パレードは)観桜会
の平和のイメージとは相いれないものであ
ると同時に、市が平成7年に行った非核平
和友好都市宣言の主旨に反するもの」「今
回のパレードは小銃携行、装甲車付きで威
圧感たっぷりのパレードとなった。市民に
威圧感を与えないという配慮を求め
るならば、観桜会でこのような武装パレ
ードは行うべきではなかった」とのべ、抗議
しています。当然のことです。

(写真はパレードする装甲車)



区分 年度	対象者数 (人)	タクシー券		燃料費		助成額 合計 ①+② (円)
		利用者数 (人)	助成額 ① (円)	利用者数 (人)	助成額 ② (円)	
20	6,628	2,514	35,407,180	2,394	43,187,628	78,594,808
21	6,776	2,544	35,997,010	2,550	45,811,498	81,808,508
22	6,995	2,611	36,977,690	2,868	51,773,202	88,750,892
23	7,150	2,600	36,430,570	3,040	54,608,536	91,039,106
24	7,270	2,477	34,686,370	3,193	57,490,500	92,176,870

平成20~24年度のタクシー・燃料費助成事業の対象者数と実績

障がい者向けのタクシー・燃料費助成、年間1万9000円 遠方からの通院者などにはもっと増額を

上越市では身体障害者手帳1~3級の人、療育手帳Aの人、精神障害者保健福祉手帳1~2級の人を対象にタクシー・燃料費助成事業を行っています。タクシー券は1人当たり年間1万9000円まで、自動車燃料購入券も1人当たり年間1万9000円までです。

3月議会の厚生常任委員会では日本共産党議員団の平良木議員が情勢金額の増額を求めて質問に立ちましたが、券のすべてを使いきった人の割合は、合併前上越市で47.4%、13

区でも50%未満でした。日本共産党議員団には、「券をもっと使いやすいようにしてほしい」「全部を使わない人がいる一方で、すぐになくなってしまっている人がいる。遠方から病院に通う人など実際にもっと必要な人には増額してほしい」などの要望が皆さんから寄せられています。

日本共産党議員団では引き続きこの問題を議会でとりあげていきますので、皆さんの声をぜひお寄せください。



【チゴユリ】漢字で「稚児百合」と書きます。チゴユリ属の多年草。落葉する雑木林などにあり、市内各地で見かけます。

はしづめ法一の活動レポート

No.1654 2014.4.27
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

橋爪法一 検索

前号から「市政レポート」は「はしづめ法一の活動レポート」に名称変更しました。今後ともよろしくお願ひします。

春よ来い 第三〇二回 デイサービス

母が初めてデイサービスへ行った日のことです。買い物でも病院通いでも出かけるときは、いつも出発時間ギリギリにならないと用意が整わない母ですが、この日はもう三〇分前に靴下を履き、頭にネットをかぶって準備を終了していました。

午前八時四五分には迎えの車がわが家にやってくるというので、私も母と一緒に炬燵に入って車を待ちました。テレビではコマーシャルが流れていました。

「はてな、ありや、誰だったかな」

母は、急にテレビに写っていた俳優さんを指差して言いました。

「小林旭だがね」

と私が言うと、

「あーら、ほんとだ」

という言葉が返ってきました。こんな会話だけならいいのですが、母の場合、物忘れが普通よりも進行したということで、医療、介護の専門家の人から、デイサービスに通うことを奨められました。

母はしゃべる方はいつも通りです。この日も、迎えの車が来るまでの間、先日亡くなったばかりの同級生、稲田のカズヲさんのことやデイサービスセンターで一緒になるであろうおばあちゃんたちのことを次々としゃべってくれました。

「おまん、この間、カズヲさんが新聞に載っていたと言ったこと。今度、春日山の留一さんもハガキで教えてくんだった」

「おまんだの同級生の男しよで生きていなるがは留一さんだけか」

「いやいや、群馬の幸四郎さんも元氣だし、藤尾の一平さんも元氣だ」

何を思い出したのか、母はフフと笑いながら、再びしゃべりだしました。

「カズヲさんはシンヤ（屋号）という家からテツキョウ（屋号）という家に嫁に行つたがど。ふんだでも、名前が変わらんかった。名字は同じ小山だったし、名前もカズヲさんはカタカナだったけども、一緒になった人も漢字で一雄だったすけ、カズヲさんが『カズオ』さんとこへ嫁に行ったことになるがど……」

母のしゃべりが止まると、チツクタツク、チツクタツクという柱時計の音がよく居間に響きます。そこへ、有線電話が鳴りました。

「まだ迎えに来ね。ありがとね。はえ、そろそろだろ……。はえ、行くばっかになつてるよ……。はいよ、ありがとね」

時どき母のところに遊びに来てくれる従姉も心配して電話をくれたのです。

そうこうしているうちに迎えの車が来ました。二人の職員さんが玄関のドアを開けて、「おはようございます。デイサービスセンターです」と元気に声をかけてくださいました。「もうしゃべりねーです」と言いながら、母は靴を履き外に出ました。職員さんたちに支えてもらって歩く姿は一見、具合が悪そうに見えますが、大丈夫です。

たまたま 隣の家に来ていた尾神のタカワラ（屋号）のお母さんも、少し経ってかちやってきて、「この間、コゴメのバカでかいがくんだったかに、どうしたか」と心配して声をかけてくださいました。ありがたいですね。

母の初めてのデイサービスはこうしてはじまりました。母は原之町のTさんやわが家の畑の近くに畑を持つSさんなどと話げできたとか。「日曜日ごとというがすけ、また行くがねかな」と言う母、次回は誰とおしゃべりできるか楽しみにしています。

という柿崎区のグループの人たちから、本に出てくる「蛸場」を案内してほしいと頼まれて、同行しました。これもうれしいことでした。



今年のさくらはどこでも見事

今年の観桜会は、高田公園、坂田池、栄恩寺、安塚のリバーサイドなどどこでも大盛況でした。

私は高田城百万人大観桜会などいくつかの観桜会を楽しみました。今

年の桜は天候にも恵まれ、どこでもきれいで、しかも長持ちしましたね。

先週の日曜日は、吉川区の尾神しだれ桜祭りに参加してきました。ここは私が32歳までお世話になったところです。会場では、地元の尾神のみなさんや同級生など懐かしい人と何人も再会、とてもうれしかったです。また、私の本を購入した

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	4月16日(水)	4月23日(水)
上越南消防署	0.033	0.036
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.047	0.047
東頸消防署	0.050	0.050
高士分遣所	0.047	0.050
名立分遣所	0.050	0.046

ご苦労様でした

14日は前副市長、山岸行則さんの送別会でした。参加者からのプレゼントのひとつに保冷バッグがあつたことから、山岸さんは挨拶の中で、「この間、山仕事をして暖かいビールを飲んだ。もう少し前にいただくとありがたかった」と笑わせ、その後、行政と本格的に対峙できる議会改革の継続、長野北部との連携を訴えていました。知事や副知事とのエピソードも入った興味深い挨拶でした。山岸さん、本当にご苦労様でした。

